



# キリンホールディングス

## 法政大学国際高等学校

### エコ・アクション・プロジェクトチーム



研修後の記念写真

2022年11月24日(木)、法政大学国際高等学校の生徒4名が高校生企業環境研修に参加。神奈川県横浜市鶴見区にあるキリンホールディングスのパッケージイノベーション研究所を視察し、企業の環境保全などの取組を学びました。

#### 企業研修のテーマ キリンホールディングス パッケージイノベーション研究所

### パッケージからイノベーションを起こす

パッケージはあらゆる商品に使われています。商品を手にとったとき最初に触れる部分であり、物流工程や店頭で衝撃や気温変化から商品の中身を守る重要な役割も担っています。一方で近年では、プラスチック容器による海洋汚染などパッケージを取り巻く社会課題も顕在化しています。パッケージに変革を起こすことで人々にあたらしい価値を提供するとともに、社会課題を解決する。それがパッケージイノベーション研究所のミッションです。



パッケージイノベーション研究所

#### 研修を終えて キリンホールディングスご担当者からのメッセージ

##### 今回の研修での率直な感想

日頃購入いただいているキリングループ商品のパッケージに関する工夫や省資源化・リサイクルの取り組みをご説明し、ほんのわずかな材料使用量削減が、資源枯渇のセーブや温室効果ガスの削減に大きく寄与していることを理解いただきました。

今回、お客様の視点に最も近く、環境に対する意識の高い高校生のみなさんと意見交換ができて、我々の今後の容器やリサイクル技術の開発に生きるアイデアをいただけたこと、今後の高校生のみなさんの環境課題に対する取り組みのメインドをわずかながらでも高められたことは、今回の受け入れを通じて非常に光栄な機会を頂戴できたと感じています。このような機会を増やして、キリングループならびに社会に貢献する研究所として、今後も広く活動していきたいと思っております。



パッケージの説明



講師  
大久保辰則さん

#### 研修を終えて 法政大学国際高等学校 高校生の感想 (抜粋)

お客様のニーズに最大限に応えながらも、真摯に環境問題に取り組む企業の方々にすごく憧れを持ちました。



研修の様子



##### 竹村一都さん

「環境を考える」。この言葉にこの日ほど熱意と重みを感じたことはありません。ペットボトルのどの部分をとっても軽量化に伴う資源の節約の工夫が詰め込まれているというお話を聞いて、自分達の活動でもまだまだ工夫できる箇所があるのではないかと、新たに目標が出来ました。



##### 川原田晴美さん

飲料メーカーが、ペットボトルの開発まで手がけていることを知り、非常に驚きました。「ケミカルリサイクル」は、新品同様に使用できる点に大きな可能性を感じました。「プラスチックは使い次第で資源にもなる」ということを、私たちが広めていきたいと思っております。



##### 岡田真奈さん

今回の企業研修で、資源の削減やリサイクルについて関心を持ちました。梱包の角を落とすなどの少しの工夫で、膨大な量の資源を削減することができるというのは本当に驚きでした。工夫と努力でペットボトルも100%リサイクルできるということを、広く伝えていきたいと思っております。



##### 佐藤風作さん

紙の使用量を削減したパッケージを見た際、強度計算やデザインなど、あらゆる面で最善を尽くしてパッケージが開発されていることを学びました。それにより削減される紙の量は数パーセント。しかしその努力が地球の未来を変えようと思うと、胸が熱くなりました。

キリンホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。



ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。  
のんだあとはリサイクル。

